

墨田区のお知らせ

No.2156

2025年
(令和7年) 10/1

毎月1日・11日・21日発行

- ◆2面以降の主な内容
- 2・3面……令和7年度在宅介護実態調査等
- 3～6・8面……講座・教室・催し
- 7面……すこやかライフ

ひと、つながる。
墨田区SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

墨田区は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

発行：墨田区(広報広聴担当) ☎5608-1111代表 ☎130-8640墨田区吾妻橋一丁目23番20号

<https://www.city.sumida.lg.jp/>

今月末で開設2周年を迎える区産業共創施設「SUMIDA INNOVATION CORE(SIC)」。

ここで生み出されたスタートアップ企業と区内企業の様々な共創が、区が抱える地域課題の解決や、区の産業集積のアップデートにつながっていることをご存じですか？今号では、現在進められている共創の事例をいくつかご紹介します。

[問合せ]産業振興課産業振興担当
☎5608-6186

もうすぐ
開設
2周年SUMIDA
INNOVATION
CORE

とは？

すみだに蓄えられたものづくりの技術・人材と、すみだの強い地域ネットワークを活かして、スタートアップ企業を支援し、区内企業等との共創を生み出す「産業共創施設」です。共創により各企業の成長・発展を促し、「ものづくりのまち すみだ」が持続的に発展するために重要な「産業集積のアップデート」へとつなげていきます。

CASE 01

国産のピククルボール専用
コートマットの開発

株式会社BAKUAGE × ナガセケンコー株式会社

体力や運動経験に関係なく誰もが楽しめるニュースポーツの1つ、「ピククルボール」。テニス・バドミントン・卓球の要素を併せ持ち、バドミントンコートと同じ広さでできるのが特徴です。アメリカ発祥のスポーツで、日本でも競技人口やプレイできる機会が増えてきていますが、専用のコートマットが外国製しかなく、費用や入手の難しさが普及の壁となっていました。

そこで、ニュースポーツの普及を推進する株式会社BAKUAGEは、国際大会でも採用される高品質なバドミントンコートマットを製造する区内企業のナガセケンコー株式会社と協力し、国産コートマットの開発に着手しました。

今後、ピククルボールを区民にとってより身近で気軽にできるスポーツとすることで、普段なかなか運動する機会がない方への運動習慣の定着を目指し、健康寿命の延伸につなげます。



パドル(ラケット)でプラスチック製の穴開きボールを打ち合うスポーツ。球速が遅いので初心者でも楽しめます。



コートマットの試作品。完成すれば、設置するだけでどこでも気軽にピククルボールができるように。

ピククルボールの
体験会も開催！
詳細は
こちら



CASE 02

認知症の予兆検出アプリ
「はなしてね」の開発・実証

株式会社IGSA × 千葉大学予防医学センター

株式会社IGSAは、認知症の前段階であるMCI(軽度認知障害)に気付けるよう、スマートフォンで質問に答えながら最短2分間話すだけで脳の健康の変化を計測できる、50代～70代の方向けのアプリ「はなしてね」を開発しています。

開発に当たり、千葉大学墨田サテライトキャンパス(文花1-19-1)内のコミュニティスペース「あつまレ HUB・LAB・SUMIDA」でアプリ体験の機会を設け、アプリの使いやすさの評価や質問の設計に関する専門的な助言等を千葉大学予防医学センターが行いました。

本アプリは全国に先駆けて区内で展開しており、区民の皆さんは今年度中は無料で利用できますので、ぜひお試しください。今後は区の介護予防事業との連携も含め、区民の更なる健康増進に向けて取り組んでいきます。



子どもの頃の思い出や最近の出来事など、気軽に答えられる質問で測定します。



アプリ体験中の様子。多くの意見を参考に、誰もが使いやすいサービスになるよう開発しています。

アプリ公式HPから
LINEを友だち登録
して、ぜひ
体験を！



SIC会員企業を随時募集中！詳細はSICのHPへ ▶▶▶



エスディージーズ
SDGsは、私たちがこの地球で暮らし続けていくために、2030年(令和12年)までに達成を目指す世界共通の17の目標です。1面に掲載する事業が目指す目標をアイコンでお知らせします。

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう17 パートナリシップで
目標を達成しよう